

熊 本 子 と も 囲 碁 便 り



No.38 2015. 2. 20

発行：NPO法人

熊本子ども囲碁普及会

託麻囲碁クラブ内 096-382-0174



1 2 2 名の参加！

第13回熊本子ども囲碁交流大会・・・

1月18日（日）熊本市東部交流センターにて開催されました。インフルエンザが流行中でしたが、11教室より122名の参加で熱気ムンムンの大会になりました。

審判に内田直也肥後本因坊、組合せに県庁囲碁クラブからも応援をいただきました。



会場の様子 13路盤の部も頑張りました

☆全勝者は下記の通り（18名）☆

《19路盤の部》

宮川天地（帯山中1年）

戸澤政輝（合志南小6年）

上田健心（保育園）

二宮大河（長嶺小6年）

須藤大喜（城東小1年）

宮本美七（碩台小5年）

菊池武太郎（附属小2年）

牛島嘉彪（壺川小5年）

牛島奨健（壺川小4年）

自見英恵（幼稚園）

宮崎優太（託麻西小3年）

木村美結（保育園）

斉藤颯月（画図小1年）

斉藤瑞月（画図小4年）

五師貫良（帯山小2年）

石田宗壽（幼稚園）

《13路盤の部》

宮崎椋太（託麻西小1年）

西澤真澄（出水南小4年）

次回は 4月26日（日） です。ふるってご参加下さい！

白鈴保育園（菊陽町）囲碁教室開催！！

1月26日（月）午前10時から白鈴保育園年長組（30人）を対象に囲碁入門教室を開催しました。講師は入門教室ベテランの藤崎幸次郎先生。先生手作りのマグネット9路盤でルール説明の前に、一人対局で終局場面を作り陣地の広さを子ども達に数えてもらいました。



その後、一手からやり直し、ルール説明をしながら同じ盤面を作りだしました。ポンヌキの石取りから入るのではなく、陣地の広いほうが勝ちということを最初に教えるのは子ども達にもよく分かるようです。

先生の質問にも元氣よく手をあげて答える子ども達。男の子と女の子のふた組に分かれて石取りゲームを行いました。どこでもそうですが、この石取りゲームは全員楽しいようで、石がとれたら飛び上がって喜んでいました。次に4つのグループにわかれて同じく3ヶの石を早くとったほうが勝ちというゲーム。

保育園の先生も入っていただき、また、菊陽町の囲碁愛好会の方の手伝いもあり、楽しく1時間半近くの

教室を終えることができました。最後、全員に9路盤をプレゼント。家で保護者と楽しんだ子どももいたということ聞き嬉しく思いました。この教室は2月23、3月23日にも開催予定です。（記 西山）



「学校と囲碁」

NPO法人 熊本子ども囲碁普及会
理事長 江藤茂

最近、囲碁の効用の理解が深まり、教育現場に囲碁を取り入れている学校が増えているようです。特に大学では単位のとれる教科として、東大、早慶をはじめ全国の20数校で採用されています。また小中学校においても増加傾向にあります。

囲碁にはいろんな素晴らしい効用があります。現役プロ棋士として活躍している石倉昇九段（日本棋院）は囲碁の効用としての8項目を挙げています。

以下、列記してみます。

- ① 右脳 ②考える力 ③礼儀 ④集中力 ⑤バランス感覚 ⑥忍耐力
⑦大局観 ⑧コミュニケーション能力

たとえば、右脳といってもピンとこない方がほとんどだと思います。囲碁はその特徴として、「答えのない競技（ゲーム）」だと言えます。序盤においては直観力や構想力がとても大事になります。その際、右脳をフルに使うので右脳力の強化につながるわけです。

新聞報道で知ったのですが、全国の学力テストでは秋田県がいつも上位になるそうです。その理由を知りたくて、多くの学校関係者が自分のところと何が違うのかと秋田県に視察に訪れるそうです。

しかし、秋田県では特別な指導をしているわけではないそうです。ただ、何が他と違うのかと言いますと、

子どもたちが自ら学び考える力を育んでいるそうです。そのこと、つまり「自ら学び考える力を育んでいる」ことは、学校の授業に囲碁が採用され始めたことと相関関係があると私は考えています。

囲碁は前述のとおり「答えのないゲーム」ですから、一手一手を自ら考え、自ら学び自分なりの答えを出していきます。そのことが自分で考える力を、ゲームを通じて養成し、培っているわけです。

これからも囲碁の持つ素晴らしさを一人でも多くの子ども達に伝えていこうと考えています。

平成27年2月

RKKテレビ「ちびっ子タイム」のテレビ放映について

RKKテレビ「ちびっ子タイム」の取材があり、2月2日から6日までの5日間〈夕方6時55分～5分間〉テレビ放映がありました。



マイクに向かって、碁の「面白いところ」「難しいところ」など囲碁に対する思いをしっかりと述べて、さらに「強くなりたい」「囲碁はこれからもずーと続けたい」と言う子は多かったですが、将来「囲碁のプロ棋士」になりたいと言った子どもは1人もいませんでした。

また、将来の夢は、「医者になりたい」「獣医師になりたい」「学校の先生」に成りたいなどと、日頃の遊び好きな子ども達からはとても想像できない将来の夢

を、マイクに向かって立派に述べておりました。“先生もびっくり”

取材された方からは、「囲碁をしている子は賢いですね」という言葉を頂きました。また、頑張りましょう。

(RKKカルチャーセンター子ども囲碁教室講師 藤森常生)

《第23回長崎ジュニア囲碁大会の報告》

2月11日（祝）長崎で開催された大会に熊本から3人が出場しました。

C3部門（7級）で前田心香さん（杉上小3年）が準優勝、B部門（初段～2段）で池田めい子さん（文徳高2年）が準優勝しました。選手権部門の前田悠仁くんは惜しくも入賞を逃しました。

選手権部優勝は寺下 龍太郎 君 が（私立 筑陽学園中学校3年 福岡県）2連覇しました。



熊本子ども囲碁普及会のホームページ・・・見てね！

<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>

とつげき!

囲碁インタビュー

4人のお友だちにどんな気持ちで囲碁をしているのか、聞いてみたよ!

4人のお友だち

上島花音ちゃん
幼光保育園 6才
18級

池内光希くん
東町小学校 4年生
1級

上田けんしんくん
エンゼル保育園 6才
10級

樋田望ちゃん
画図小学校 4年生
8級

囲碁を始めたきっかけは何ですか?

花音ちゃん: わたしは、おばあちゃんにすすめられて、体験に行ってみたら楽しかったから始めました。

光希くん: お父さんが囲碁のチラシを見て、ぼくにすすめてきたからです。それに学校の近くにあるから学校へ帰りにかよえると思いました。

けんしんくん: ぼくは、さいしょにおばあちゃんに連れられて行った時に、おもしろそうだったから始めました。

望ちゃん: わたしは、3年生の総合学習で、町の名人を探していて、囲碁の先生にインタビューをしたことがきっかけで始めました。

囲碁のすてきなところはどこですか?

花音ちゃん: 自分より上の級の人に勝てた時に、とてもうれしくなるところです。

光希くん: さいきは勝つことが難しくなってきたけれど、勝てたときはとてもうれしく感じます。

けんしんくん: ぼくは、黒の石の色がとてもきれいでそこもすてきなところだと思います。

それに、相手と良い勝負になった時が、特におもしろいところだと思っています。

望ちゃん: わたしは、大会で色々な人とふれ合えるところだと思います。詰碁をとくのも好きですね。

一人ひとり打つところがちがっていて、先をよむのもおもしろいところだと思っています。

囲碁を始めて良かったことは何ですか?

花音ちゃん: わたしは、囲碁で新しいお友だちがたくさんできたところです。

光希くん: 全国大会に行くことができたことです。その時にディズニーランドにも行くことができて、それもうれしかったです。

けんしんくん: ぼくは、とてもおもしろいから始めて良かったと思っています。

それに囲碁を始めてから、計算も得意になったし、お友だちもたくさんできました。

望ちゃん: 集中力がつきました。それにあいさつもきちんとするから、礼儀やマナーも身に付いたと思います。

囲碁で考えることが多くなったからよく考えるくせも付いたし、詰碁をとくから本を良く読むようにもなりました。

もししたら同じような気持ちで囲碁をしているお友だちもいるかもしれないね!

これからインタビューを続けていくから、気になるお友だちはこの「子ども囲碁便り」を見ていてね★

花音ちゃん、光希くん、けんしんくん、望ちゃん、アンケートに答えてくれてありがとう!!

私のお薦めの一冊～「碁、このアジア的経営パラダイム」

十数年前に、なんともスケールの大きい題名に魅せられて寝食も忘れて読んだ本である。著者曰はく「私は二つの偉大な帝国の崩壊をじかに目撃してきた。日本の満州帝国とイランのパーレビ帝国である。日本の戦略は将棋に、イランの戦略はペルシャ将棋に基づいていた。両方共失敗した。その観察から、もし私たちが好戦的なチェスの観念に固執し、その虜のままでは、せいぜい冷たい平和、悪くすると熱い貿易戦争しか期待できまいというのが私の結論である。碁という新しいパラダイムに赴けば、各国は繁栄と平和の未来を築くために必要な手段を発見できるだろう。(略)私の観察と経験を碁の哲学と戦略の文脈にそって述べ、碁がビジネス戦略と世界新秩序の双方に役立つことを証明したいのである」。また、巻頭には「(碁を知らないあなたへ)この本を読み終えれば、あなたは少なくとも知識の上では、1級まで上達すること請け合いです。そこで以下の各章も、対局開始之巻に始まり九子局から先之巻まで、だんだんハンデキャップが減って、終局之巻を迎える仕掛けになっています。(碁が腕自慢のあなたへ)この本を読み終えれば、あなたも囲碁的自分史が書きたくなること請け合いです。但し、打ち始めるのはやさしいけれど、書き終えて作り碁までこぎ着けるのは、なかなか難しい。中押しで投了にならないように、ワープロを使われたほうがいいでしょう。」とも書かれている著者絶対の自信作である。著者は三浦康之、(株)ウェッジ出版。尚、本書は海外赴任歴の豊富な著者がサラリーマン最後の時期に英語著「Go: An Asian Paradigm for Business Strategy」として1995年にIshi Press社から出版されたものを著者自身による意識版である。



NPO 法人熊本子ども囲碁普及会監事 後藤 渉

大会のお知らせ

熊 本 県 民 囲 碁 ま つ り

日 時：3月22日（日） 於：熊日本社（中央区世安）

参加費：高校生以下 1500円（一般2000円）

※1チーム3名の団体戦です。たくさん参加して下さい。

※第3回RKK少年少女囲碁将棋大会の日程が決まりました！！※

7月18日（土）県民交流会館パレアにて！！

NPO法人熊本子ども囲碁普及会賛助会員のご協力ありがとうございます。

主旨に賛同いただき、賛助会費として継続を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

法人会員

井筒屋化学産業（株）・ 熊本電気鉄道（株）・ 日本郵政グループ労働組合九州地方本部
ルンビニー幼稚園・ 日本棋院託麻囲碁クラブ支部・ R K Kカルチャーセンター・ （有）草野企画
重光産業（株）・ （株）熊本銀行・ 福田病院・株式会社かんぽ生命保険熊本支店・全労済熊本県本部
ましき耳鼻咽喉科クリニック・日本棋院人吉球磨支部・熊本市内官公庁等囲碁大会事務局
熊本母と子の囲碁教室・（有）エムティエス松本・日の丸産業（株）

個人会員

長田幸基・ 宮崎享・ 松本晴子・ 鳥井郁代・ 吉永茂・ 桑原五夫・ 石川至孝・ 岐部英登・ 川口雄一
島田万里・ 田口信夫・ 塚本清・ 風口英利・ 徳尾芳道・ 徳尾幸子・ 藤本和美・ 上野剛彦・奥村拓司
大原照久・ 安川俊文・古家 守・ 新道哲也・ 湯村フク・寺尾敏子・満井浩一・ 下地朋友・ 下地君代
田中力男・ 鶴山繁實・ 古賀征生・ 渡辺武 ・ 加納剛太・ 石塚正司・ 板垣草人・ 駒崎照雄・ 瀬口良三郎
畠中直幸・ 畠中忠俊・ 江藤 剛・ 松田 敏・ 後藤修一・ 松尾 孝・ 八塚敬子・ 竹屋純子・元田美智子
養田耕太郎・宮川秀樹・宮川哲就・田坂照夫・宮永康男・古田 浩・江藤 茂・江藤由久子・西 徳義・
坂田祇彦・岩下 弘・江富佑子・芦田 司・古庄 剛・大島國壮・檜 國雄・毛利秀士・見寄裕一・鎌田聡
寒野猶富・酒井ちはる・ 板井太志・ 湯村フク（順不同・敬称略）

各地の教室・・・（アイウエオ順）

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ○ R K Kカルチャーセンター子ども囲碁講座 | （熊本市東区長嶺 096-383-3900） |
| ○ 一 新 こ ど も 囲 碁 教 室 | （熊本市中央区新町 096-352-7639） |
| ○ 尾ノ上コミュニティセンターこども教室 | （熊本市東区尾ノ上 096-340-8731） |
| ○ 上 通 子 ど も 囲 碁 教 室 | （熊本市中央区上林町 1-30 096-288-0005） |
| ○ 熊 本 母 と 子 の 囲 碁 教 室 | （熊本市東区下江津 096-370-2263） |
| ○ さくら通り・蓮台寺 親子囲碁交流会 | （熊本市西区蓮台寺・平成 080-3377-0407） |
| ○ 佐 土 原 子 ど も 教 室 | （熊本市東区佐土原 096-367-1707） |
| ○ 託 麻 囲 碁 ク ラ ブ | （熊本市東区保田窪 096-382-0174） |
| ○ 玉 名 立 願 寺 楽 碁 長 屋 子 ど も 教 室 | （玉名市立願寺 0968-73-9008） |
| ○ 日 本 棋 院 玉 名 支 部 教 室 | （玉名市岩崎 0968-74-4968 ） |
| ○ 日 本 棋 院 人 吉 球 磨 支 部 教 室 | （人吉市城本町 0966-28-3111） |
| ○ ヒ カ ル の 碁 ス ク ー ル 「 阿 蘇 」 | （阿蘇市一の宮町宮地 050-3481-7045） |
| ○ 武蔵ヶ丘コミュニティセンター子ども囲碁教室 | （菊池郡菊陽町津久礼 096-232-5697） |
| ○ 松尾東子ども囲碁教室 | （熊本市西区上松尾 096-329-6951） |



“内田直也肥後本因坊から碁盤セット7組を寄贈いただきました。大会に使わせていただきます。ありがとうございました。”

編集後記

今回は、子ども達のアンケートを掲載しています。20代のM女史が仕事の合間に編集を手伝ってくれました。いつもとは違い新鮮なお便りをお届けできる気分です。投稿お待ちします。

（西山）